

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	持続可能な医療システムの実現を目指したグローバルな実践型薬学教育				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子
	研究分担者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	賀川 義之
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	橋本 博
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	石川 智久
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	原 雄二
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	森本 達也
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	尾上 誠良
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	近藤 啓
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	内田 信也
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	梅本 英司
		所属・職名	薬学部・准教授	氏名	Philip Hawke
	発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子

講演題目	持続可能な医療システムの実現を目指したグローバルな実践型薬学教育
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>本研究の目的は、海外との行き来が再開することを見越して、地域社会と国際社会での社会貢献について学生に考えさせる取り組みを通じ、グローバルな視野を醸成する薬学教育の実践である。</p> <p>社会が急激に変化する中、薬剤師および研究者、高度専門職業人を養成・育成する薬学教育では、持続可能で安心・安全な医療システムを次世代に引き継ぐために、グローバルな視野が必要となる。本学では、医療を通じて人類の健康に貢献する総合科学としての薬学教育を通して、多様化する社会課題解決に資する人材を輩出することを目指し、①グローバルを指向した研究教育、②Pharm. D. 養成型薬剤師養成教育、③多様なキャリア教育をはじめとした特色ある教育を行っている。①の研究教育の成果としては、学生による多くの学会優秀発表賞受賞歴が挙げられる。令和4年の日本薬学会第142年会にて、本学の口頭発表の受賞者数は全国5位と高順位であった。②の薬剤師養成教育では、国公立19大学による高度先導的薬剤師養成プログラム事業等も活用して研究者マインドを持った薬剤師の養成に力を注いでいる。本学が行っているグローバルを意識した病院実務実習については、教育シンポジウムに招へいされるなど学外的に高い評価を得た。③多様なキャリア教育では、薬学教育で身につけた高度な専門性を地域社会・国際社会で活かすための工夫をした活動を行った。高度専門薬剤師を育成する教育として、アリゾナ大学薬学部研修やマヒドン大学との国際共同シンポジウムなどで、学生が実際に英語で実習を行ったり、発表したりする機会を設けた。また、本学では、所定の科目を履修することで臨床検査技師国家試験受験資格を得られる。令和4年度以降の入学生を対象に臨地実習の義務化等のカリキュラム改正に対応するための協議申請が採択され、薬科学科の資格が維持された。本学は、静岡県内で臨床検査技師を養成できる2機関のうちの一つ（静岡市周辺では唯一）であることから、今回の承認校の資格の維持は、持続可能な地域社会への貢献につながると期待される。コロナ感染症におけるPCR検査や抗体・抗原検査のように、臨床検査は治療薬の使用と密接に関わっており、技術革新もめざましいことから、薬学教育への相乗効果が期待できる。</p>